

平成 30 年 9 月吉日

関係各位

公益社団法人熊本県理学療法士協会
会長 坂崎 浩一
学術部部長 宇野 晃輔
学術研修班班長 吉橋 謙太郎

平成 30 年度「第 76 回学術研修会」のご案内

拝啓

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、下記要綱にて平成 30 年度第 76 回学術研修会を開催する運びとなりました。今回は首都大学東京の樋口貴広先生をお招きし、「歩行と知覚・認知機能」というテーマでご講演いただきます。本研修会は「知覚・認知」という観点から歩行の諸問題をひも解き、運動学的な観点からみた運動の側面とは違った新たな一面をみることが出来ます。知覚・認知に精通し確実な成果を挙げてこられた樋口先生の知見に触れることのできる貴重な機会になると思います。

ご多忙の折とは存じますが、多くの療法士のご参加を部員一同心よりお待ちしております。

敬具

記

テーマ：歩行と知覚・認知機能

講師：樋口 貴広 先生（首都大学東京 教授）

日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）9：00～16：00（受付開始 8：30～）

会場：朝日野総合病院

対象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定員：110 名（定員となり次第締め切らせていただきます。）

参加費：熊本県理学療法士協会 会員 4,000 円／非会員 8,000 円

※今年度の年会費未納の方は非会員価格となりますのでご注意ください。

お申し込み期間：平成 30 年 9 月 1 日(土) ～ 10 月 15 日(月)まで

申込み

熊本県理学療法士協会 HP“行事カレンダー”より

ポイント

神経理学療法専門分野、新プロ(C-1 神経系疾患の理学療法)

受付

JPTA 会員証持参(日本理学療法士協会会員のみ)

お願い

申込みは個人の連絡先(メール・携帯電話番号)を必ず入力！してください

*ご不明な点は下記までメールでご連絡ください。

医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院
理学療法士：川上 渉

E-mail：wataru.k4652@gmail.com

第76回熊本県理学療法士協会学術研修会

テーマ『歩行と知覚・認知機能』



【講師紹介】

講師：樋口 貴広 先生

所属：首都大学東京人間健康科学研究科

ヘルスプロモーションサイエンス学域

【御略歴】

2001年7月 - 2002年3月 東北大学文学研究科 博士研究員
2002年4月 - 2003年3月 横浜国立大学エコテクノロジーシステムラボラトリー 博士研究員
2003年4月 - 2006年3月 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
2004年10月 - 2006年3月 Waterloo 大学 (カナダ) 客員研究員
2006年4月 - 2008年3月 首都大学東京 助教
2008年4月 - 2014年3月 首都大学東京 准教授
2015年4月 - 現在 首都大学東京 教授

【所属学会等】

日本生態心理学会、市民安全学会、バイオメカニズム学会、日本心理学学会、日本スポーツ心理学学会、日本体育学会、日本体力医学学会、日本認知心理学会

【研究テーマ】

- ・歩行の視覚運動制御
- ・視線行動に着目した知覚と運動の互惠性に関する研究
- ・道具の使用に対する適応メカニズム
- ・スポーツ選手の優れた状況判断の分析
- ・高齢者の転倒予防に対する知覚的アプローチ
- ・視覚障害者の安全な歩行に対する基礎研究

【研究業績・著書・論文、その他それに準じる業績】

- ・『知覚に根ざしたリハビリテーション：実践と理論』。樋口貴広・和泉謙二・真下英明・種村留美（編）
- ・「歩行の安全性にかかわる心理機構」。PTジャーナル 51(5)。2017
- ・「認知と行動のメカニズム」。大竹恵子（編）『保健と健康の心理学：ポジティブヘルスの実現』 35-47, ナカニシヤ出版。2017
- ・「身体図式：行為を支える脳内身体表象」。斎藤秀之ら（編）。2016『感覚入力で挑むー感覚・運動機能回復のための理学療法アプローチ』。161-169, 文光堂。2016
- ・「移動行動の視覚運動制御」。バイオメカニクス研究 19, 144-149.2015
- ・「ダイナミックな空間移動を支える視覚運動制御」。臨床スポーツ医学研究 32. 1146-1150. 2015
- ・「運動イメージと運動学習ーその認知科学的背景ー」。理学療法 32(9), 780-788.2015
- ・樋口貴広・建内宏重『姿勢と歩行：協調からひも解く』。三輪書店.2015

などその他著者、論文多数執筆。